

「1-2 青少年の健全育成」に関する委員意見・市の取組状況等

委員からの意見	現在の市の取組状況・考え方	改善すべき点、新たなご提案等
地域子ども教室は居場所づくりとして一定の効果があった。今後は「育てる」事業へと転換することが必要である。	・現状・課題及び取組方針①に記載しました。	（審議会にてご意見をお願いします。）
児童・生徒が主体的に取り組める場所と機会を提供しリーダーを育成する。	・現状・課題及び取組方針①に記載しました。	
児童・生徒が組織に加入して活動する形態の他、コミセン等に青少年の部屋を設け、自由に学び活動できる環境を確保する。	・現状・課題及び取組方針①に記載しました。 ・取組実施にあたり、検討します。	
児童生徒の将来を考え多岐にわたる事業（スポーツ・文化・芸術・科学・家庭・社会）の推進が必要。	・取組方針①の主な取組として様々な体験・交流・学習活動の提供を記載しました。	
地域子ども教室発足時に、市によるリーダー研究会を実施する。	・協働推進課において自治会長等への研修を実施しています。	
成人式事業の継続が必要。	・今後も継続する予定をしています。	
指導者不足であり、学区を越えたテーマ毎の活動を実施するのもいいのではないか。	・現在も内容によって、学区を越えて活動をしていただいています。	
「希望が丘文化公園」では独自の青少年向け事業が多く実施されており、コラボレーションし、青少年向け事業を実施してはどうか。	・取組実施にあたり、検討します。	
不審者情報については少年センターからの配信とし、関係組織が直ちに動けるようにすべきである。	・取組実施にあたり、検討します。	